

【国際関係学部】令和8年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ： 生成 AI の教育利用に関する指導方針の策定

(2) 目的： 国際関係学部では、一昨年度より、論文・レポート課題における生成 AI の利用をめぐる課題について教員間で共有し、適切な指導方法の検討を進めてきた。しかし、生成 AI の急速な普及および技術的進展により、これまでの FD 活動は、授業や課題で顕在化した問題点の共有にとどまり、生成 AI をどのように教育的に利活用するかという具体的な指導方針を学部として明確に策定するには至っていない。

そこで今年度は、基礎演習 I において生成 AI に関する基礎的知識および活用方法を学ぶことを踏まえ、演習科目、発展科目、国際英語科目における生成 AI の利活用の管理および指導方針について、体系的に検討することを目的とする。

(3) 期待する効果： 適切な指導方針を策定することにより、各科目群において生成 AI をどのように、かつどの範囲まで使用可能とするのが明確になる。その結果、学生が生成 AI を批判的かつ効果的に活用し、学修成果の向上につながる質の高い課題作成を行えるようになることが期待される。

2. 公開授業等について

(1) 公開授業・ワークショップ

①公開授業

実施日：2027 年 1 月 13 日（水）3・4 限

実施科目：Issues in International Relations I（3 年次生）

担当：ノハラ・マコーマック・吉田・井口・クロス・ストレフォード・三田

②ワークショップ

公開授業に基づき、英語授業における生成 AI を用いた指導方法やその効果について意見交換を行う。

(2) その他研修会等

①第 1 回 FD/SD 研修会

実施日：2026 年 6 月 17 日（水）教授会後

担当：三田 貴

テーマ：海外実習におけるリスク管理研修

目的：海外実習の平常時および緊急時における対応の基本的な心構えと判断基準の共有、想定される事例をもとにした行動シミュレーションを行う。

②第 1 回 FD 研修会

実施日：2026 年 10 月 14 日（水）教授会後

担当：吉川敬介・山本和也

テーマ：生成 AI の教育利用に関する指導方針の策定

目的：各科目群における生成 AI の活用方針の検討・策定

③卒業成果物・アセスメント科目の評価基準の検討

④演習科目の指導効果の検証・改善策の検討

※この内容は本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。